

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床検査総論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1学年		学期及び曜時限		教室名	
担 当 教 員	大畑 早苗	実務経験とその関連資格	臨床検査技師 労災病院に39年勤務			
《授業科目における学習内容》						
医学の発展に伴い医療分野では多くの検査が実施され、診断するための重要な役割を果たしている。検査は何のために行われ、またどのような方法で実施されているか等、検査内容と疾患のつながりを臓器別に理解すること、臨床検査の基礎知識を習得することを目的とする。						
《成績評価の方法と基準》						
小テストと学期末テストを実施。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
医学書院の系統看護学講座 臨床検査						
《授業外における学習方法》						
事前に教科書を読んで予習をしておくこと。 各授業終了時の復習をして小テストや期末テストに備えておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
授業中は私語禁止、授業態度も試験への評価に加味しますので、国家ライセンスを取得するまでは学業に専念し努力を惜しまないで下さい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	臨床検査の意義や検査値を理解する事で、検査前の準備での測定値に影響を与える因子などを確認できる。		医学書院 系統看護学講座 臨床検査	受けた講義内容その日の内に整理	
	各コマにおける授業予定	第I部臨床検査の基礎 第I章 診療に於ける臨床検査の役割・種類・目的と臨床検査結果の評価。				
第2回	授業を通じての到達目標	検査の流れを知る事で患者への説明が適格になる。又、検体を適切に扱うことで測定値や感染予防にも理解が深まる。		同上	同上	
	各コマにおける授業予定	第I部臨床検査の基礎 第2章 臨床検査の流れ・準備、検査を受ける患者への説明と注意、検体の採取・保存・移送法。				
第3回	授業を通じての到達目標	検査に伴う危険性を理解し、患者や自身(医療者)への防止。看護師による検査の実施や検査結果等の守秘義務の徹底。		同上	同上	
	各コマにおける授業予定	第I部臨床検査の基礎 第2章 検査に伴う危険と防止、看護師が実施・指導する検査、生体検査とその介助、検査結果の取り扱い。				
第4回	授業を通じての到達目標	一般検査の種類や患者に出来る検体採取の説明、検査結果や注意事項及び一般検査の意義を理解。		同上	同上	
	各コマにおける授業予定	第2部おもな臨床検査 第3章 一般検査 尿・便・体腔内貯留液・脳脊髄液(髄液)・関節液・消化液検査 小テスト1				
第5回	授業を通じての到達目標	血液学的検査の種類や骨髓検査での介助と検査後の看護。検査結果による血液学的検査の意義を理解。		同上	同上	
	各コマにおける授業予定	第2部おもな臨床検査 第4章 血液学的検査 赤血球沈降速度(赤沈;血沈)・血球・出血・凝固・溶血性貧血・骨髓検査。				

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	化学検査は最大検査項目を有し、各臓器の疾患診断や生活習慣病の診断まで、その知識の整理とその意義を理解する。	同上	同上
	各コマにおける授業予定	第2部おもな臨床検査 第5章 化学検査 血清タンパク質・血清酵素・糖代謝・脂質代謝・胆汁排泄関連物質・窒素化合物の検査。		
第7回	授業を通じての到達目標	前回に続いての検査項目での意義に理解を深める。	同上	同上
	各コマにおける授業予定	第2部おもな臨床検査 第5章 化学検査 骨代謝関連・腎機能・水・電解質・血液ガス分析・鉄代謝関連・銅代謝関連・ビタミン・血中薬物濃度検査。 小テスト2		
第8回	授業を通じての到達目標	抗原抗体反応の理解(自己免疫疾患・腫瘍マーカー・妊娠反応・微生物等)と、その検体の取り扱いを確認する。	同上	同上
	各コマにおける授業予定	第2部おもな臨床検査 第6章 免疫・血清学的検査 炎症マーカー・液性・細胞性免疫・自己抗体・アレルギー・免疫学的妊娠反応・腫瘍マーカー検査		
第9回	授業を通じての到達目標	輸血による事故防止。ホルモン測定での患者の体調と計測のタイミング、また負荷試験での患者への説明と介助の確認。	同上	同上
	各コマにおける授業予定	第2部おもな臨床検査 第6・7章 免疫血清・内分泌学的検査 輸血に関する・下垂体前葉・後葉ホルモン・甲状腺ホルモン・副甲状腺ホルモンの検査。		
第10回	授業を通じての到達目標	ホルモンのフィードバックのしくみ。各ホルモン検査の意義や各検体採取での注意点を把握する。	同上	同上
	各コマにおける授業予定	第2部おもな臨床検査 第7章 内分泌学的検査 副腎皮質・副腎髄質・男性性腺・女性性腺・膵臓・消化管・その他のホルモンの検査。 小テスト3		
第11回	授業を通じての到達目標	適切な検体の採取・保存や感染予防と自己管理。 特殊な微生物についての菌種菌名と処置の知識。	同上	同上
	各コマにおける授業予定	第2部おもな臨床検査 第8章 微生物学的検査 感染症の診断と検査、各種感染症と検査、各種病原体と検査		
第12回	授業を通じての到達目標	細胞診での細胞変性防止。病理組織検査の生検・術中組織迅速診断・手術摘出材料診断の検体処理や注意点の確認。	同上	同上
	各コマにおける授業予定	第2部おもな臨床検査 第8・9章 微生物・病理学的検査 各種病原体と検査、細胞診・病理組織検査、剖検診断。		
第13回	授業を通じての到達目標	患者への説明・介助の必要性についてと各機能検査の意義。 看護師での直接機器使用の確立。	同上	同上
	各コマにおける授業予定	第2部おもな臨床検査 第10章 生体検査 循環器機能・呼吸器機能検査。 小テスト4		
第14回	授業を通じての到達目標	患者への各検査説明と介助。内視鏡検査では医師の補助と検体処理での注意点の理解。	同上	同上
	各コマにおける授業予定	第2部おもな臨床検査 第10章 生体検査 神経機能検査、超音波検査、磁気共鳴画像(MRI)検査、サーモグラフィー、内視鏡検査。		
第15回	授業を通じての到達目標	臨床検査について、看護師としての役割を全て網羅する事が出来た。	同上	卒業試験や国家試験まで計画を立て復習を忘れずに。
	各コマにおける授業予定	期末テスト。 復習。		